

墮ちて
しまおう
本

ヴァルキュリアが

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

前回のあらすじ

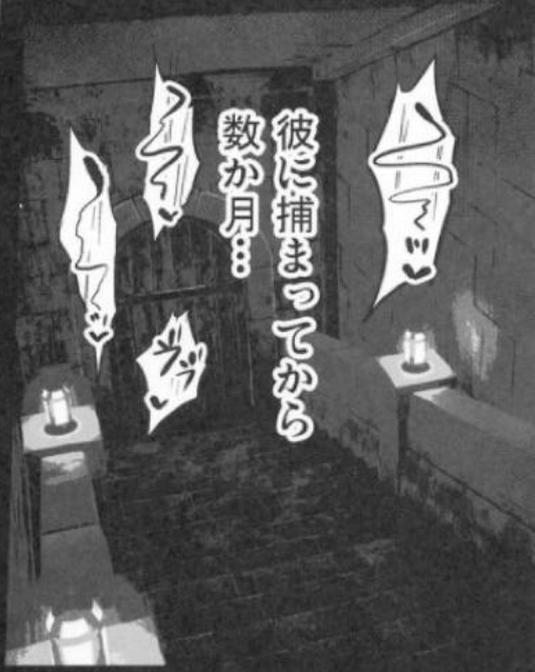
プロデューサーに敗北し、
捕虜となった
アインフェリアのアイコ

アイコに異常な執着を見せる
プロデューサーは
彼女を墮とし我が物とするために
執拗な快樂調教を仕掛ける

強い意志をもって
プロデューサーの調教に耐える
アイコだったが…
彼女の言葉とは裏腹にその身体は
次第に快樂を受け入れつつあった…



調教は...



彼に捕まってるから
数が月...



まだ...

続いてる...

ミミミミミミ
ミミミミミミ

ミミミミミミ
ミミミミミミ

ミミミ
ミミミ

ミミミ
ミミミ

ミミミミミミ
ミミミミミミ

ミミミ

ミミミ

ミミミ
ミミミ
ミミミ

ミミミ

ミミミ

ミミミ

ミミミミミミ
ミミミミミミ

あー…

いつもの質問だが…
そろそろ決心して
欲しいものだな

ギャーン

ギャーン

ビーン

んあ…

アインフェリアを捨て…
快楽を受け入れ
私に屈服する事を…

あ…

はーん

はーん



もう…やめて…
くださ…っ♡

こんなこと…
繰り返しても…
わたしは…ッ♡

やれやれ…

うん





身体は既に
開発されきって
いるのに…

心までは快樂に
堕ちないその姿は
感嘆せざるを得ない…



だが…



この姿は
どうだ…



いでてるッ

いでてるッ

いでてるッ

いでてるッ

いでてるッ



なんでっ
止めてくれないのッ



身体がっ

いでてるッ

自分の身体じゃ
なくなってるッ



いも...ッ
わたしはっ

いでてるッ

いでてるッ

まだ...ッ



戦乙女の誇りに…
かけてっ

屈したりは…

しな…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…



終わっ…た…?

わたしは…
今日も…

耐え…

あ…

あ…

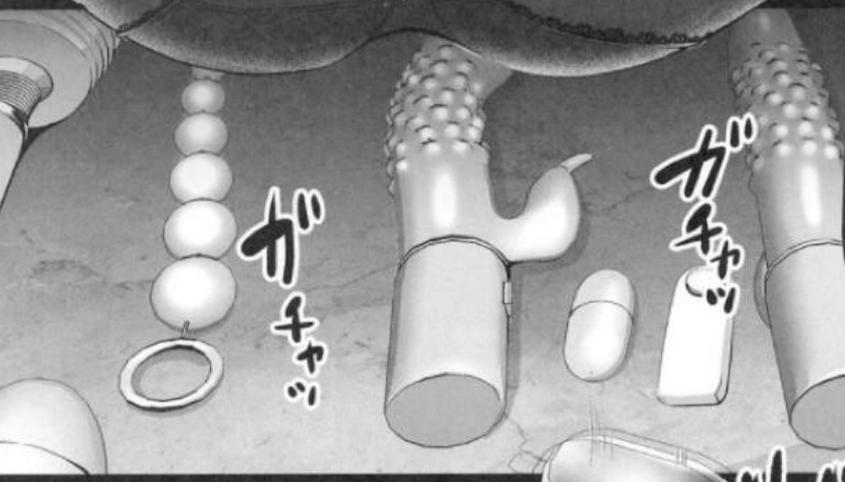
あ…



気がついたかね

君が屈しないと
言うなら…
それもいい

徹底的にその身体を
調教し…
開発してやろう…



性感帯に
なるまでな

全身が

どうだ？クリと
子宮を同時に
責められるのは…

誇り高い
アインフェリアは
こんな事では
屈しないのだろうか？

ほら
またイッたぞ

大サービスで30秒絶頂を
我慢したら
止めてやろうか？

おやおや…
快樂から逃れようと
必死だな

30…

29…

ごっごっごっ
ごっごっごっ
ごっごっごっ

まあ私からは
尻を振って媚びている
ようにしか見えんが

なっ

はい残念

潮と本気汁を
撒き散らして…
そんな
気持ちよかったか

足の指まで
ピンとさせて…

やはり…

お前は既に快楽を
享受しているよ…
アイコ…



あーん

あーん

きもち...

あーん

あーん

あーん

さささ

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

随分手こずっている
ようですね…
プロデューサーさん

皇帝チツヒ…

それだけ彼女の
アインフェリアへの
使命…想いが
強いという事です

既に彼女から
ヴァルキュリアの
データは十分に
採取しましたし

手駒にできないと
いうのなら
時間をかける意味は
ないと思いますが

いえ…
彼女は必ず堕ちます…
私にはわかる

それにまだ…
策があります

…策？

フフフ…
期待していますよ
プロデューサーさん

いっおっお
いっおっお
いっおっお

見つけたの!?

アイコちゃんが...!!

ミナミさん!!



それが...!!

アイコ・タカモリをお返しする



事...!!
どういう...!!

...!!

数か月後

何故…彼は
私を解放したの…

あれから…

はぁ…

はぁ…

くちゅ…

ずっと…
身体の疼きが
止まらない…

まだ…私の心は
彼に囚われて
いるの…??

くっ…

ん…

くっ…

きつと…
彼を倒さなければ…

この疼きは
止められない…!!



私は…

可能な限りの
鍛錬は詰みました…



わざわざ私に
一騎討ちを
挑むとは…

あれから
腕は上げて
きたのかね

もう…
負けません！



やはりその姿が
似合っているぞ

あっ!?

そんなっ!!

!!!

どうして…こんなに
あっさり…!!

アイコ…
弱くなっているな…

パワーも…
スピードも…
以前ほどのものを
感じない

いや…違うな

君自身が知らずに
手を抜いているのか…

な…何を
馬鹿な事を…

それは…
ここに触れれば
分かる…

なっ…!?

君が調教中何度も
口にしてきた

「屈しない」「負けない」
「アインフェリアの誇り」も

「もっと虐めてくれ」
というアピール
だったわけだ

帰還した時も
一人で慰めようとして
イケなかったのでは
ないか？

君が望むものは
これだろうか？

もう…君は戦乙女でも
なんでもない…

あ…っ♡

あ…っ♡

ただの…
堕ちたメスだ

あ…っ♡

コレが欲しいか…？
では無様に尻を向けて…
私に服従を誓うのだ

欲しい♡

はやく

おちんちんっ♡
欲しい♡♡

欲しい…っ♡

欲しい…♡

あ…っ♡

これ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡

あ…っ♡



わたし…アイコ・タカモリは
あなたに完全屈服し…

この身を捧げる事を…
誓います…♡

ククク…股から愛液を
垂れ流し…肉棒を求めて
男に尻を振って媚びる…

これがかつての
気高きインフェリアの
姿か…!!

高ぶるぞ…
アイコ…!!

お前の望み
叶えてやろう…!!

お前の



快樂に溺れる！
アイコ・タカモリ!!

ははは

あーあーあー

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは



その甘い
歓喜のメス声……！

そこまで快樂に
飢えていたかッ

あーあーあー

ははは

ははは

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

ははは

表情を見せて…

ふふふふ
あーあー

クク

クク

クク

クク

クク

きもちいい
ですっ…

わたしは…
これが…

これがずっと
欲しかったんです…

は

は

ククク…

以前のお前からは
考えられんな…!!

この時を
待ちかねたぞ…!!

クク

クク

クク

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

ふふ

ふふ

はー

はー

感想を
聞かせてみる!!

お前はもう
私の女だ…!!
アイコ・タカモリ…!!

もう…戦いの事も…
なにも考えなくていい

ただ…快樂に
溺れる日々…

これが…♥
わたしが求めていた事…♥

キス…すきっ…♥

完全に膣も
俺のチンポの形に
フィットしているな

気持ちいいッ

気持ちいい…ッ♡

ギチギチに締め付けて
射精を求めてくるぞ！

わたしの気持ちいいとっころ

貴様の口からも
懇願してみろ!!

もっ…もっ…
おっ…突いてえ…ッ♡

はっ♡

はっ♡
精子…
くださる♡

ぜんぶわかって
くれてるひとっ♡

わたしの疼きが…

あ♡

満たされていく……♡

おまおま♡

いい絶頂っぷりだ……

では私も隷属の証を
君の膣内に
注いでやろう!!

おまおま♡

おまおま♡

おまおま♡





アイコ…
ようやく私に
墜ちてくれたな…

ほお…♡

共に…闇に
溺れようではないか…



その後：
アインフェリア
アイコ・タカモリの
姿を見た者はいない…

民衆からは
様々な説が流れたが…



はーっ
あ…
あ…
はーっ

アスガルド側が情報を
公開することはなかった…



数か月後

似合ってるぞ…
アイコ…

ムキ♡

ムキ♡

ああ…ッ
今日もアイコを可愛がって
ください…♡

わたしの
疼きを満たして
くださいっ♡

はは…♡

あは…♡

んん…♡

おっ♡

ト…♡

んん…♡

んん…♡

アスガルドの…
アインフェリアの…
元氣ですか？

んん…♡

んん…♡

んん…♡

んん…♡

んん…♡

んん…♡

んん…♡

わたしは今…
くだらない戦や…
使命から解き放たれて…



毎日…プロデューサーを…
とつても幸せな
日々を過ごして…



皆にも…
この幸せを
おすそ分けしたい…

あまみ

あまみあまみあまみ

あまみあまみあまみ



なごみ…

あま—ん

あま—ん

この快樂は永遠に
私たちふたりだけの
もの…

このまま…永遠に…

深い…深い
快楽の闇へ…♡

イキまじり…♡
プロデューサーさん♡

END



あとがき

お手にとって頂きありがとうございます。mentです。

数年前に発行したヴァルキュリアイコの本の続きでした。

続編の要望の声を何件か頂いたのと僕も堕ちるまで描きたいな～って
思っていたのでチャレンジしてみました。お楽しみ頂ければ幸いです。

委託の方、冬コミから期間を空けてしまい申し訳ございません…！

修正や描きたりないな～って思う所を直していたら結構経ってしまいました…

次回は最初から時間を取ってしっかり描き切りたいと思います。

スケジュール管理うまくならねば…

また、成人向の商業漫画の方も最近はやっているので、

そちらも興味がありましたらぜひともよろしくお願い申し上げます。

2023/2 ment

成人向同人誌

ヴァルキュリアイコが堕ちてしまう本

初版：2022/12/31

印刷所：大陽出版様

発行：listless time

連絡：listless.time@gmail.com

pixiv:52122 もばげ：51670953 でれすて：733163719

ご意見、ご感想などありましたらぜひ。



ヴァルキュリアイコが堕ちてしまう本

listless time